

名神湾岸連絡線 環境影響評価の結果（総括）

環境要素 〈資料掲載ページ〉	影響要因	調査結果 ○：基準を満足、—：基準等無し	予測・評価結果 ○：基準・参考指標を満足、×：基準・参考指標を超過、影響あり			環境の保全と創造のための措置の概要 ○：予測結果は基準を満足するが実施 ●：予測結果が基準超過や影響ありにより実施	評価結果			事後監視調査 (※) 供用後の事後監視項目	
			措置後予測	回避低減	基準目標						
大気汚染 (二酸化窒素:NO ₂ 、 浮遊粒子状物質:SPM) <P18-22>	工事:建設機械	既存測定局(平成30年度)	○	最大)NO ₂ :0.044ppm,SPM:0.054mg/m ³ で基準を下回る	<基準>	○	○排出ガス対策型建設機械の採用等			建設機械の稼働状況	
	工事:工事用車両	すべての地点において環境基準を下回る		最大)NO ₂ :0.035ppm,SPM:0.054mg/m ³ で基準を下回る	NO ₂ :0.04-0.06ppm		○	○工事用車両の分散等			
	供用:自動車	NO ₂ :0.040ppm(98%値,6局の最大) SPM:0.048mg/m ³ (2%除外値,6局の最大)		最大)NO ₂ :0.035ppm,SPM:0.054mg/m ³ で基準を下回る	SPM:0.10mg/m ³		○	—			
大気汚染 (粉じん等) <P23-24>	工事:建設機械	参考指標(20t/km ² /月)を下回る	○	最大)6.6t/km ² /月で参考指標を下回る	<参考指標>	○	○工事中の散水、工事施工ヤードへの仮囲い等			建設機械の稼働状況 工事用車両の運行状況 粉じん等の発生状況	
	工事:工事用車両	四季別:1.52~5.41t/km ² /月		最大)5.1t/km ² /月で参考指標を下回る	10t/km ² /月		○	○タイヤ等の洗浄、工事用車両の分散			
水質汚濁 <P25-30>	水の濁り 水の汚れ 底質	工事:海底の掘削 すべての地点において環境基準を下回る	○	濁りの変化の範囲は掘削想定箇所の周辺に留まる		○	○汚濁防止膜の設置			汚濁防止膜の設置状況 工事中の水の濁り及び汚れ	
				汚れの変化の範囲は掘削想定箇所の周辺に留まる			○	—			
				すべての物質について各種基準を下回る	汚染底質は存在しないため、有害物質が周囲に拡散する可能性はない		○	—			
騒音 <P31-41>	工事:建設機械 工事:工事用車両 供用:自動車	すべての地点において環境基準を下回る 14地点で2回実施(L _{Aeq}) 西宮JCT・IC周辺の最大:昼68dB、夜62dB 今津東線周辺の最大:昼67dB、夜61dB 西宮浜の最大:昼67dB、夜63dB	○	最大)102dBで 基準を超過する	<基準> 85dB	×	●防音パネル等の遮音対策 ●低騒音型建設機械の採用等 最大)措置前102dB⇒措置後83dB			建設機械の稼働状況 防音パネルの設置状況 建設機械の稼働に係る騒音	
				最大)69dBで基準を下回る	<基準>		○	○工事用車両の分散等			
				西宮JCT・IC周辺(最大71dB/近・昼)、今津東線周辺(最大61dB/B・夜)、西宮浜(最大66dB/A・昼)において 基準超過 ※西宮浜における対象道路の寄与は、対象道路以外の道路の影響分を増加させないレベル	近接空間:昼70・夜65 B地域:昼65・夜60 A地域:昼60・夜55		×	●遮音壁等の設置 西宮JCT・IC周辺:遮音壁高さ1~3m 近接)措置前71dB⇒措置後66dB 今津東線周辺:遮音壁高さ1m B地域)措置前61dB⇒措置後59dB			
振動 <P42-45>	工事:建設機械 工事:工事用車両 供用:自動車	すべての地点において要請限度を下回る 14地点で2回実施(L ₁₀) 最大:昼間50dB、夜間48dB	○	最大)63dBで基準を下回る	<基準> 75dB	○	○低振動型建設機械の採用等			建設機械の稼働状況	
				最大)49dBで基準を下回る	<基準>		○	○工事用車両の分散等			
				最大)53dBで基準を下回る	第1種:昼65・夜60 第2種:昼70・夜65		○	○高架のジョイント部への対策			
低周波音 <P46-47>	供用:自動車	すべての地点において参考指標を下回る 13地点で2回実施(L ₅₀ ,L _{G5}) L ₅₀ 最大:86dB、L _{G5} 最大:93dB	○	西宮JCT・IC周辺~今津東線周辺:77dB/85dB(L ₅₀ /L _{G5})、 西宮浜(類似調査による):82dB/86dB(L ₅₀ /L _{G5})で 参考指標を下回る	<参考指標> L ₅₀ :90dB L _{G5} :100dB	○	○高架のジョイント部への対策			供用後の低周波音(※)	
日照障害 <P48>	存在	著しい日影の影響を及ぼす地形はない	—	西宮JCT・IC周辺の保全対象(2階)において 参考指標を超過	<参考指標> 2階で5時間等	×	●高架構造物の上下部工の形式・配置等の工夫				
廃棄物等 <P49>	工事	土壌汚染の可能性があると考えられる土地利用履歴がある	—	建設発生土(約98,000m ³)やアスファルト・コンクリート塊(約500m ³)、コンクリート塊(約4,500m ³)が発生し、 概ね全量を区域外搬出 する		×	●現場内利用及び工事間利用の促進 ●再資源化施設への搬入等による他事業等での利用				
地形・地質 <P50-51>	工事・存在	貴重な地質として「宮水地帯」が存在 沖積粘土層(Ac1層)の上層が第1帯水層、下層が第2帯水層 現地調査による年間変動幅: 地下水位 第1帯水層30~40cm程度 第2帯水層60~70cm程度 塩化物イオン濃度 第1帯水層31.0mg/L 第2帯水層46.8mg/L	—	宮水地帯近くにおける地下水位変化及び地下水質(塩化物イオン濃度)の変化量は、年間の変動幅の範囲に十分入る		○	○「西宮市宮水保全条例」に係る手続きに準じた関係機関との協議を踏まえた事業の実施			「西宮市宮水保全条例」に係る手続きに準じた関係機関との協議状況	
植物 <P52-53>	工事・存在	貴重な植物を5種確認 海浜植物群落(甲子園浜・御前浜・香榎園浜)を確認 侵略的外来種を21種確認	—	貴重な種(イヌノフグリ、カワヂシャ)に 影響がある 侵略的外来種(11種)について拡散等の 影響がある		×	●貴重な植物種の種子の保管 ●侵略的外来種の刈り取り等			イヌノフグリ及びカワヂシャの種子の採取・保管状況 対象道路近傍におけるカワヂシャの生育状況(※)	
動物 <P54-55>	工事・存在	貴重な動物(鳥類30種、爬虫類1種、底生動物6種)を確認 侵略的外来種を14種確認	—	・貴重な鳥類の多くは対象道路より離れた「甲子園浜・御前浜・香榎園浜」に分布し、さらに、対象道路は今津浜を回避しており、飛翔による横断は少ないことから移動の大きな障害にならない。 ・貴重な種、注目すべき生息地(浜甲子園)、侵略的外来種ともに環境影響の程度が極めて小さい又ははない		○	○汚濁防止膜の設置			汚濁防止膜の設置状況 貴重な鳥類の生息状況(既存資料による)	
生態系 <P56-57>	工事・存在	「市街地の生態系」及び「干潟・砂浜・海域の生態系」に区分 貴重な生態系(甲子園浜・御前浜・香榎園浜)	—	注目種・群集の生息・生育基盤並びに地域を特徴づける生態系への影響は、極めて小さい又ははない		○	○汚濁防止膜の設置				
文化財 <P58>	工事・存在	「今津灯台 付立札1枚」が存在	—	「今津灯台」は改変されない		○	—				
触れ合い活動の場 <P59-60>	存在	11箇所の利用状況等を把握	—	一部の主要な触れ合い活動の場において、 快適性の変化が生じる		×	●構造物の形式、デザイン、色彩の検討 ●道路附属物の形状、デザイン、色彩の検討				
景観 <P61-67>	存在	現況の眺望景観を把握し6箇所を予測地点に選定	—	一部、スカイラインを切断し 眺望景観に変化が生じる		×	●「西宮市都市景観条例」に基づく関係機関との協議を踏まえた事業の実施				